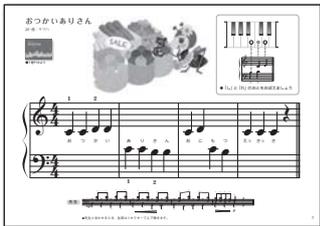
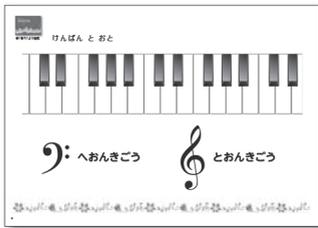
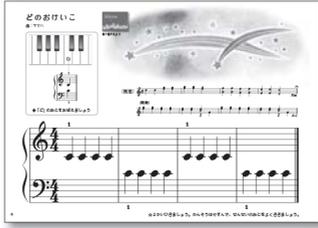
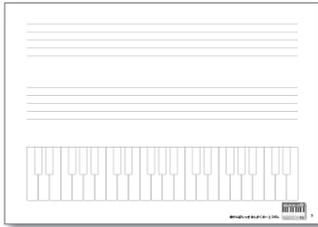


● 体験レッスン指導案 (幼児・30分レッスンの場合) ●

実際に体験レッスンをされている先生方のご意見を元にした指導例です。
アイデア次第でさまざまな展開ができますので、生徒の様子を見ながら自由に活用してください。

時間	項目	内容	シート	留意点
0:00	はじめに	生徒と保護者を迎える	 <p>名前を書いて渡してあげてください。</p>	テキストを全巻揃えておき、どんな曲が弾けるようになるのか期待を持たせる。楽しい雰囲気になるように、笑顔で！
0:01	自己紹介	簡単な自己紹介をする		目線を生徒の高さに合わせて、しっかり目を見て話しかける。保護者向けには簡潔に。なるべく早くレッスンに入る。
0:02	生徒を知る	質問してみる		「ピアノって知ってる?」「触ったことある?」など、答えやすいものを2、3個。
0:03	歌を歌う	保育園や幼稚園で歌ったものを一緒に歌う		童謡など、良く知られている曲にすると良い。
0:06	ドレミで歌う	★体験レッスンシート 7ページ 新版 オルガン・ピアノの本1 「おつかいありさん」		「ありさんが何をしているところかな?」など、問いかけをしながら、イラストに興味を持たせる。歌詞で歌ってみる。先生のマネをして、ドレミで歌う。 ※歌うのが苦手な生徒の場合は、無理をせず、様子を見て順番を工夫したり、次回にするなどしてください。
0:10	・右手 ・左手 ・指番号	★体験レッスンシート 2、3ページ 右手と左手、指番号を教える		右手には赤、左手には青いシールを貼るなどして左右の確認をする。同時に指番号を教える。 時間があれば手の形を一緒に描いてみる。描き方を教えて、宿題にしても良い。 ※お手玉を使って「ピアノを弾く手の形」の指導を入れても良いです。

時間	項目	内容	シート	留意点
0:13	鍵盤のド	<p>★体験レッスンシート 4ページ</p> <p>2つと3つの黒鍵/ ドの位置を教える</p>		<p>シートを使って「ド」を探してみる。 できたら、ピアノでもいろいろな 高さの「ド」を探す。</p> <p>余裕があれば、ト音記号とヘ音記 号についても説明しておくとも良い。</p>
0:16	ドを弾く	<p>★体験レッスンシート 6ページ</p> <p>新版 オルガン・ピアノの本1 「ドのおけいこ」</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 棒が上向きについている音符 と下向きについている音符を 認識させる。もしくは上の段 と下の段の音符でも良い。 2. 棒が上の音符を赤で、下の音 符は青で囲む。 3. 楽譜を見ながら、赤で囲んだ 「ド」は右手で、青で囲んだ「ド」 は左手で弾く。 4. 慣れてきたら、伴奏に合わせ て弾く。 <p>※すぐに弾けてしまった場合は、7ペー ジの「おつかいありさん」を使って、 「レ」と「シ」の音にも挑戦してみま しょう。</p>
0:21	五線のド	<p>★体験レッスンシート 5ページ</p> <p>音符読みの導入</p>	 <p>※このページは 「けんぱんつきおんがくのーと2だん」 をお使いください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が五線に、ド・レ・ミをラ ンダムに書いておき、音符の説 明をする。「ド」に色を塗る。 ・先生が点線で音符を書き、生徒 がなぞって書く。 ・鍵盤図の「ド」に色を塗る <p>※時間配分に合わせて自由に活用して ください。</p>
0:24	模範演奏	<p>先生の演奏1, 2曲 を聴かせる</p>		<p>あまり難しすぎる曲ではなく、ピ アノへの憧れを持たせるよう に素敵に演奏する。</p> <p>※長すぎないようにしましょう。</p>
0:27	おわりに	<p>教室規約や テキストについて</p>		<p>保護者への説明を行う。</p>